

地域を愛し、地域と共に歩む学校づくり

『あいみょん』と聞けば、歌手？を想像する方もいらっしゃると思いますが、伊台・五明地区では、言うまでもなく、旭中学校発のゆるキャラですよね。

平成24年、当時の3年生が、地域をPRしたいとの思いで、全校生徒にゆるキャラを募集し、1年生の坂根さんの色鉛筆で描いたイラストが採用されました。名前は旭中学校区にある学校名（「あ」さひ、「い」だい、ご「みよ」う）に「ん」を加えて付けられ、体は伊台・五明地区で有名な「ブドウ」「薄墨桜」「ホテル」、両地区にたくさん流れる「川」を組み合わせて作られました。最終的には坂根さん自身のご家族と協力しながらデジタル化して『あいみょん』が誕生しました。

さて、旭中学校は、伊台・五明地区の皆様の並々ならぬご尽力、ご協力によって、旧伊台・五明中学校の統合新設校として、平成2年に下伊台に開校しました。地域の皆様の願いや思いを受け、校訓を「敬愛 自立 健康」とし、校歌の歌詞には地域の名所である「薄墨桜」「勝岡」「伊台川」が使われています。また、両校の校歌から「我が郷土」「真理を求め」「腕組みかわし」の歌詞の一部が受け継がれています。旭中学校は開校35年目となりますが、開校当時の地域の皆様の願いや思い、両校の伝統を継承する学校で在り続けたいと考えています。旭中学校では、継承の一助として『あいみょん』が誕生したと捉えています。

本年度は、生徒会役員が中心となって、子どもたちの手で『あいみょん』を再評価、PRする活動を行ってきました。集会や行事では、誕生当時に製作して頻繁に使われていた張りぼて人形を数年ぶりに登場させたり、クイズ形式で『あいみょん』に対する理解を深めたりしています。さらには、オンラインで坂根さんにインタビューを行って誕生までの秘話をまとめて校内掲示板やホームページで公開したり、文化祭（旭エスタ）では12歳の誕生日を祝ったりもしました。

（QRコードからアクセスして確認してみてください。）生徒たちは、これらの取組を通して、『あいみょん』に込められた願いや思いに改めて触れながら、その先にある地域への誇り、愛情を深めているところです。

すでに伊台・五明小学校では、『あいみょん』が旭中学校との共通ゆるキャラとして根付いており、伊台小学校の150周年記念「モザイクアート」「新階段の装飾」にも使われています。今後、地域でも『あいみょん』に込められた願いや思いを知っていただく方が増え、かわいがっていただければ、生徒たちは自分たちの活動にやりがいや自信を感じ、将来に渡って地域を愛し地域に誇りをもって生活していけるのではないのでしょうか。旭中学校は、伊台・五明地区を支えていく人材を育成していくことをお約束します。また、『あいみょん』を旗頭に地域と共に歩む学校づくりを進める中で、地域全体が更に発展していくことを願っています。

